

グローバルリスク シンポジウム

増大する地政学的リスクの見通しとその処方箋 —「ニューノーマル時代」をどのように生きるか—

英国でのEU離脱決定により、欧州大変革の動きが発生する一方、フランス大統領選挙の結果では、その変化に一時的な減速感が生まれた観もあります。しかし、北アイルランドやスコットランド等での独立への動きや、マクロン仏新政権が直面していく困難、前倒しになりつつあるオーストリア総選挙の結果の他、イタリアやギリシャが共通通貨ユーロの圏内に留まれるか否か等々の要因があり、予断を許しません。政界や産業界としては、この一時的な減速により、今後の大変動に備えるための時間的猶予が与えられたのかもしれません。

また、米国ではドナルド・トランプ政権の出現により、貿易政策面でのTPPや環境政策面でのパリ協定離脱等、グローバリズムからの離脱への新たな流れが生まれています。さらに、安全保障面では世界中で加速度的にテロ攻撃が頻発しています。

これらの国際情勢に見られる大変化の背景にある社会的潮流は何なのか。

英国や欧州の政治情勢分析を専門とし、欧州の移民政策やナショナリズム、ポピュリズムの動きに詳しい新進気鋭の国際政治学者でケント大学教授のマシュー・グッドウィン氏(英国)や、IMF サブサハラ・アフリカ専門家委員の一人であり、日本への留学・研究経験も重ねて東アジア・アフリカの経済情勢に詳しいアンタナリボ国立大学教授のヘリンザトゥブ・ラミアリソン氏(マダガスカル)をお招きして、これらのリスクの背景や対処法を探ります。

さらに、我々日本人にとって、まさに「今、そこにある危機」である北朝鮮の脅威について、オリエンタル・リンク社代表で、韓国政府の外交政策諮問委員や李明博元韓国大統領の政策アドバイザーを歴任されたトン・ヨンスン氏にもご参加いただき、現状と今後について分析を試みます。

地政学的リスクが話題となる昨今、司会及び取りまとめは、海外メディアにもよく登場される元金融マンで、世界銀行や英国通産省の上級アドバイザー等も歴任された在英シンクタンク Komatsu Research & Advisory (KRA)代表の小松啓一郎博士(英国オックスフォード大学、国際関係論)が、ロンドンから駆けつけられます。会議冒頭には、国際経済交流財団会長、元経済産業審議官の日下一正、また閉会の挨拶は、川口順子元外務大臣が行います。

【日 時】 2017年7月11日(火) 9:00~13:00 (受付:8:45~)

【場 所】 国際文化会館B1F(岩崎小彌太記念ホール) 東京都港区六本木5-11-16

【会 費】 無料

【定 員】 100名

【用 語】 日英同時通訳有

【後 援】 国際文化会館、日本貿易振興機構(JETRO)



プログラム

9:00～ 9:10 **開会挨拶：** 日下一正 国際経済交流財団 会長

第 1 部

9:10～10:40 『グローバルな地政学的リスクの現状と見通し』

9:10～ 9:35 「グローバルな地政学的リスクの現状と見通し」
スピーカー&モデレーター： 小松啓一郎 KRA 代表

9:35～10:00 「BREXIT:原因と結果」
スピーカー： マシュー・グッドウィン ケント大学教授、王立国際問題研究所客員
上級研究員

10:00～10:25 「アジアとアフリカの地政学的リスクに見る共通点と相違点：
架け橋としての環インド洋経済圏の戦略的役割」
スピーカー： ラミアリソン・ヘリンザトゥブ・エメ アンタナナリボ国立大学教授

10:25～10:40 質疑応答(15分)

10:40～11:00 **コーヒーブレイク**

11:00～11:50 「Geopolitical Risks of Korea Peninsula」
スピーカー： トン・ヨンスン オリエンタル・リンク社 代表
(韓国語による講演のため、日英逐次通訳有)

第 2 部

11:50～12:50 『地政学的リスクが当たり前の「ニューノーマル」時代の処方箋を探る』

11:50～12:40 スピーカー全員によるパネルディスカッションと質疑応答

12:40～12:50 **まとめ：** 小松啓一郎 KRA代表

12:50～13:00 **閉会挨拶：** 川口順子 元外務大臣